

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

水産課長 鈴木 岳明

電話番号

0852-22-5311

事務事業の名称	漁業無線管理運営事業	
目的	(1) 対象	漁業者・官公庁
	(2) 意図	漁業無線の有効な利用を促進し、漁船等の安全確保の向上を図る
事業概要	海上における危機管理体制を構築するため、漁業指導無線業務を運営するとともに、H19に施設整備されたJFしまね漁業無線局の安定運営に寄与するため、JFしまねに対して、整備費の一部を負担する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	漁業無線指導所の漁業無線通信回数	目標値		10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	回
	式・定義	漁業無線指導所の漁業無線通信回数	実績値	11,177.0					
			達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	4,402	4,402
うち一般財源(千円)	4,402	4,402

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

24時間体制にて漁業指導無線業務が実施されており、本県漁船の安全確保に寄与している。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

島根県所有船との通信及び漁船に対する指導監督に関する通信、組合員への気象情報、海上防災情報及び漁況速報の提供により海難事故の防止と操業能率の向上に貢献した。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

通信に必要な資格者が極めて少ないため、嘱託職員の募集を行っても応募がないなど、人員の確保に支障を来している。

②困っている状況が発生している「原因」

通信業務を行うためには資格が必要なこと。

③原因を解消するための「課題」

県内の有資格者が少ないことに加えて県内外での同様のニーズが多い。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

更なる効果的かつ効率的な情報提供の在り方を検討するとともに、通信従事者として有資格者の確保に努める。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)